

・砂利採取業の規制条例案を継続審査
・平成27年度一般会計補正予算(第3号)修正可決
 砂利採取跡地のボーリング調査費など3事業費を減額修正
 3事業費を除く補正予算案(9,690万8千円)外市長提出7議案を可決
・決算特別委員会の設置
 委員長に原 明氏、副委員長に尾崎照雄氏を選任し、「平成26年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について」外8件を閉会中の継続審査に

9月定例会

市議会9月定例会は、9月1日から11日までの11日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成27年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案9件(追加議案3件を含む)、請願2件、陳情1件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計14件です。(平成26年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について外8件については、閉会中の継続審査となり、12月定例会の報告となりました。)

審議の結果、市長提出議案の7件は原案どおり可決または、同意等がされ、一般会計補正予算については修正可決、砂利採取業の規制等に関する条例、請願2件、陳情1件については継続審査となりました。

また、議員派遣及び閉会中の継続審査につきましては、原案どおり可決されました。

本会議

◇9月1日に本会議を開き、まず会期を11日までの11日間と決めた後に、平成27年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案15件及び報告3件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

◇7日、8日は代表質問及び一般質問が行われ、12名の議員が市政一般

に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

次に、質疑終了後に決算特別委員会の設置を決めるとともに、委員の選任を行い、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇なお、決算特別委員会の委員は、次の議員に決まりました。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 原 明 |
| 副委員長 | 尾崎 照雄 |
| 委員 | 角川 真人 |
| 委員 | 竹原 正人 |
| 委員 | 高木 悦子 |
| 委員 | 中島 勲 |

◇最終日の11日には本会議を再開し、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

議案第59号(平成27年度一般会計補正予算(第3号))に対して、修正の動議が2つ提出され、2名の議員から、それぞれ提案理由の説明がありました。

次に、議案第59号と議案第59号に対する2つの修正案について、反対、賛成の各討論が4名の議員からあり、採決の結果、議案第59号から3事業費を減額する修正案が賛成多数で可決され、修正議決された部分を除く原案については賛成全員で可決されました。

詳細については別紙

また、議案第60号及び議案第62号から議案第64号の4議案については一括で採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

続いて、議案第61号(滑川市砂利採取業の規制等に関する条例の制定について)の閉会中の継続審査にすることに対する反対討論が1名の議員からあり、請願第1号、請願第2号並びに陳情第1号と合わせて採決され、民生環境委員長の報告のとおり賛成多数で継続審査となりました。

その後、市長から人事案件として、滑川市教育委員会の委員に石原大三氏（中塚）の選任、人権擁護委員候補者に梶谷正夫氏（宮達）、小沢政尚氏（荒町）の推薦について追加提案され、それぞれ賛成全員で同意または異議なしとしました。

最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、9月定例会を閉会といたしました。

第2回臨時会

平成27年第2回市議会臨時会は、会期を7月27日の1日間と決めた後に、「平成27年度一般会計補正予算（第2号）」及び「動産の取得について」の市長提出議案2件及び報告4件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、各常任委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決され、議員派遣につきましても可決され、第2回臨時会を閉会といたしました。

日誌

27年8月	9月	10月	30日
10日	1～11日	1～2日	公共施設のあり方検討 特別委員会
議会運営委員会協議会	9月定例会	公共施設のあり方検討 特別委員会行政視察 (岐阜・愛知県)	滑川中新川地区広域情報 事務組合議会10月定例会 (立山町)
産業建設委員会協議会	11日	7日	26日
定例議員協議会	議会報編集委員会	民生環境委員会	民生環境委員会
議会改革検討会行政視察 (岐阜・愛知県)	12～13日	9日	29日
富山県市議会議長会 臨時総会、 県知事との懇談会	姉妹都市交流訪問 (北海道豊頃町)	定例議員協議会	総務文教委員会協議会
20日	28～29日	議会報編集委員会	30日
富山県市議会議長会 臨時総会、 県知事との懇談会	並行在来線等問題 特別委員会行政視察 (長野県)	民生環境委員会	民生環境委員会
25日		20日	
議会運営委員会		議会報編集委員会	
26日		19日	
富山県東部消防組合議会 全員協議会(魚津市)		富山県市議会議長会 正副議長研修会 (高岡市)	
富山県東部消防組合議会 定例会(魚津市)		15～16日	
公共施設のあり方検討 特別委員会協議会		富山県東部消防組合 議会視察研修(栃木県)	
27日		13～17日	
定例議員協議会 並行在来線等問題 特別委員会協議会		日中友好富山県地方 議員連盟訪中団派遣	
1～11日		9日	
9月定例会		定期総会(富山市)	
11日		7日	
議会報編集委員会		北朝鮮に拉致された日本人 を早期に救出する富山県 市議会議員連盟理事会・ 定期総会(富山市)	
12～13日		6日	
姉妹都市交流訪問 (北海道豊頃町)		5日	
28～29日		4日	
並行在来線等問題 特別委員会行政視察 (長野県)		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	
		30日	
		29日	
		28日	
		27日	
		26日	
		25日	
		24日	
		23日	
		22日	
		21日	
		20日	
		19日	
		18日	
		17日	
		16日	
		15日	
		14日	
		13日	
		12日	
		11日	
		10日	
		9日	
		8日	
		7日	
		6日	
		5日	
		4日	
		3日	
		2日	
		1日	
		31日	

代表質問



2 1

砂利採取業の規制等に関する条例について
滑川市文化市民スポーツ復興財団における
雇いどめに係る係争について

(会派II会派自民) 中島 勲 議員

Q 条例の目的を否定しないが、砂利採取法に基づいた申請から認可に至る過程の中で、市が規制や監視指導ができる仕組みを県と協議するのがまず先ではないか。

A 上田市長 県の河川課が監視しているはずだったのに深掘りしている。ないと言ったがわかっていて注意しなかったと言えない。この話は3年前、4年前から始まっているから、県と一緒に問題解決の努力をしてくれと話してきたわけだから、機は熟したと思っ

ている。この問題については県と対峙したような関係で責め合うことはやめ、一緒に考えて考えましようということ約束してきた。

Q 重要な条例という認識

があるのであれば、制定されればそれから周知すれば済むということではない。マスコミ報道以外に条例の目的・必要性・内容等について周知が完全になされておらず混乱が生じている。時間をかけて説明責任を果たすべきと思うが。

A 上田市長 時間をかけてというが、ケーブルテレビを見られた市民の皆さんも反応が出てくると思うし、まちの中で会う人、会う人しつかりやってくれという激励がきている。私の肌感覚から言

えば、市民の皆さんには相当浸透していると思っ

ている。

Q 滑川市文化・スポーツ財団における雇いどめに係る係争について、この問題は、より深いところ

にある課題として、指定管理に対する当局の意識の低さにあると感じてならない。交流プラザの管理・運営について市との意思疎通に問題はなかったのか。

A 石川副市長 オープンから指定管理者として滑川市文化・スポーツ財団

か、市と連携、協議しながら、積極的に取り組んできています。そのような中で職員の雇用のあり方・勤務体制・研修についても常に心がけ、また法的な面も顧問弁護士に相談しながら日々努めている。

その他の質問事項
Q 都市マスタープランについ

代表質問



3 2 1

砂利採取業の規制等について
砂利採取地ボーリング調査について
スポーツ・健康の森公園の埋設物について

(会派II自民クラブ) 浦田 竹昭 議員

Q なぜ、いまさら、どうして条例制定なのか、その必要性について問う。

A 確井産業民生部長 地下水の保全、地下水涵養、良好な水資源及び適正な土地利用の確保を図るため制定する。

Q なぜ、地下水の涵養、水資源の確保に悪影響を及ぼすのか、具体的な根拠を問う。

A 確井産業民生部長 砂利採取に伴い、地下水の涵養、水資源の確保へ影響を及ぼす可能性があることが悪影響である。

Q なぜ、軟弱地盤で土地利用の確保への悪影響を及ぼすのか、具体的な根拠を問う。

A 確井産業民生部長 立山町の事例が一つの根拠であり、陸砂利採取跡地が軟弱地盤であることから、

宅地化、企業誘致等の障害となる恐れがある。

Q 砂利採取地の埋め戻しと土壌汚染、また地下水汚染の因果関係について根拠を問う。

A 確井産業民生部長 埋め戻しについて、新川土木センターのほうで、本当にきちんと監督されているのか疑念を持たざるを得ない。

Q 条文の内容、中身について、具体的な形で示す必要がある見解を問う。

A 確井産業民生部長 条例案が通れば、その後規則等で細かい定めをさせていただきます。

Q なぜ、いまさら、どうして市単独でのボーリング調査なのかを問う。

A 確井産業民生部長 埋め戻し土砂、深さ等、過去の事実を確認し、必要な

措置を講じる。

Q 多額の税金投入で、何の効果、メリットがあるのか問う。

A 確井産業民生部長 必要性があるから投入するもので、本来なら認可を行う富山県が実施すべきと考えている。

Q 公園内に、産業廃棄物の汚泥であるカーバイト

かすが大量に埋設されているのは真実か問う。

A 長井建設部長 予想されており、試掘により一部においてカーバイトかすが確認された。

Q 地質調査、ボーリング調査、カーバイトかすの埋設状況について問う。

A 長井建設部長 地質調査、ボーリング調査は、行っていない。広さ、面積及び埋設量については、把握できていない。

代表質問



1 疾病の予防、早期発見対策について
2 学童保育について
3 ほたるいかミュージアムのあり方について
(会派 日本共産党議員団) 古沢利之議員

Q 提案理由説明でも健診

受診率の向上、疾病の早期発見、早期治療に努めるとある。特定健診、各種がん検診、歯周疾患検診の向上にどう取り組むのか。歯周疾患検診については、周知、啓発を含め改善の余地が大きいのではないか。

A 碓井産業民生部長 26年度の特定健診受診率は47.4%、20年度は37.2%だったので上昇している。未受診者全員に郵送及び電話勧奨している。がん検診は、37.2%、肺49.3%、大腸39.4%、子宮33.3%、乳房33.3%で全国や県よりも高いが、国の目標50%には達していない。50歳から5歳ごとの節目年齢者に無料クーポン券を交付している。歯周疾患検診は、50・60・70歳の節目年齢を対象に

実施しているが、受診率は3・4%にとどまっている。普及啓発に努めていく。
Q 歯周疾患検診は5歳スナップにすることを検討できないか。
A 碓井産業民生部長 5歳ステップも含め、いろいろ検討したい。
Q 学童保育は、4月から6年生までを対象にするなど新たなスタートを切った。夏休みを経て課題がないか。
A 伊東教育長 新制度のもと、保育の対象学年が拡大した。4年生以上では想定したほどの利用増加はなかった。支援員の確保が課題で、今年度は県内の大学等から数名の学生に協力してもらった。
Q 指導員は支援員として認定資格が求められることになった。取得の取り

組みは進んでいるか。

A 伊東教育長 支援員は今後5年以内に認定資格研修会を受講いただく必要がある。初年度は各クラブ1名程度の参加とされたところであり、今後順次受けてもらう。

Q ほたるいかミュージアムは、観光施設の位置づけから博物館機能を含めた社会教育施設とすべきではないか。

A 碓井産業民生部長 ほたるいかミュージアムは、ホタルイカの生態等を紹介し、地域活性化等を目的とした観光施設として設置され、年間5万人以上の観光客に利用している。ホタルイカの解剖教室など、社会教育施設としての一面を持った施設でもある。

その他の質問事項
Q 農業の病害虫対策について

その他の質問事項
Q 農業の病害虫対策について

一般質問



1 滑川の魅力アップについて
2 タラソピアについて
青山幸生議員

Q 企画政策課内での各種提案はどのようなものがあるか。

A 藤名企画政策課長 総合計画や総合戦略の策定、進行管理、市政の重要施策の企画立案や総合調整をしている。1カ月の提案量は、件数については特に把握していない。

Q キラリンのきょうだい募集について作品募集をするなら、敵対するキャラクターや深海に住む親友のキャラクターなど様々な派生的なものに対して募集をできなかったか。

A 藤名企画政策課長 議員の言う趣旨も大変よくわかる。今回きょうだいにした理由は、ご家庭で人口問題を考える一つのきっかけになってくれるといいなと願いを込めたものである。

Q 滑川！オトナ部活の具体的な進捗はどうか。
A 藤名企画政策課長 7月1日から専用サイト等で募集した結果、目標の40人を上回る50人のメンバーが集まった。これまでに2回のミーティングを行ったが、中には連絡先を交換し合う男女の姿も見られたところである。
Q キラリンの絵本化に向けて募集したあらずじは幾つあるか。また絵本完成はいつ頃か。
A 妻木生涯学習課長 6月にあらずじを募集したところ、児童・生徒から21作品が集まった。現在は、集まったあらずじの中から1点を選び、絵本の物語になるよう作業を進めており、今年度中に絵本を完成させる予定だ。
Q タラソピアについて、

平成26年度の決算内容をみると厳しい状況だが、当局の見解は。

A 網谷商工水産課長 指摘のとおり、燃料費等につきましては、当初、17年前より約3倍になっている。非常に厳しい状況であるが運営している。
Q 損益分岐点までの不足人数は、年間1万7千11人であり、休日を除いて12カ月で割ると1日平均56人足りない。56人増やすことは可能か。
A 網谷商工水産課長 これまでどおりの手法で行うとしたら、なかなか人員の増というものは見込めないと考えている。

一般質問



3 2 1

スポーツ観光事業について
道の駅について
子ども・子育て支援事業について

中川 勲 議員

Q スポーツは感動を与え

人の交流を起こし、地域間の交流を促進する。スポーツ観光が政策的に取り上げられたのは2010年ごろで、スポーツイベントやレジャーを観光資源として生かした観光誘致戦略であり、滑川市ではどう考えているのか。

A 上田スポーツ課長

スポーツ観光は「観るスポーツ」「するスポーツ」「支えるスポーツ」などのスポーツ資源と地域の観光を結びつけ、新たな観光のまちづくりの推進が期待される。

Q ほたるいかマラソンやバウンドテニス全国大会に市外からたくさん参加されているが、観光を企画したらどうか。

A 上田スポーツ課長 本市で開催されるスポーツイ

ベントの参加者へは、絶好の機会でもあり、観光を楽しむ企画等について観光協会や関係団体とも協議していきたい。

Q 2018年に第31回国健康福祉祭(ねりんピック)が富山県で開催されるが滑川市観光PRの絶好のチャンスでは。

A 上田スポーツ課長

これまで本県で開催された大規模な大会と同様に関係団体とも連携協力して対応していきたい。

Q 道の駅を活用して地域の活性化をつくり出すことをすべきではないか。

A 網谷商工水産課長

ほたるいかミュージアムと市所有観光船との連携、宿場回廊ガイド、滑川でしか体験できない魅力を創出し、道の駅を目的とする観光客の受け入れに對

応じていく。

Q 環境にやさしい次世代自動車の普及に欠かせない充電インフラを補助制度があるのになぜ整備しないのか。

A 黒川生活環境課長

民間業者が設置する充電器が普及しており状況等を見極めて行きたい。

Q 子ども子育て支援事業がスタートして6カ月となり状況は変わったか。

A 砂田子ども課長

2園が幼保連携型の認定こども園に、1園が保育所型の認定こども園としてスタートした。認定こども園では、3歳未満児の受け入れが可能であること、保護者の就労状況が変わっても引き続き在園できる。放課後児童クラブについては、対象が全学年へと拡大された。

一般質問



2 1

小学生のほたるいか海上観光の体験について
シャンバーグ市との姉妹都市交流事業について

谷川 伸治 議員

Q 小学生の社会科の授業の一環として、ホタルイカの生態についてや、ホタルイカ漁の仕組みや定置網について、世界で唯一体験できるのは滑川市のほたるいか海上観光であり、体験させてあげられないか。

A 網谷商工水産課長

本市の貴重な観光資源であるほたるいか海上観光を小学生の時期に体験することは、ふるさと学習の観点からも大変有意義なことである。しかし、ほたるいか海上観光は深夜の出航、乗船人数が限定され難しいと考えている。

Q 海上観光船に乗船し、日中、富山湾からの立山連峰の眺望を体験させてあげられないか。

A 網谷商工水産課長

観光遊覧船の活用策の一つ

として、小学生に富山湾から立山連峰の眺望を体験させることは、ふるさと自然を学ぶこととして有意義なこと。水産業について学ぶ小学校5年生を対象として観光遊覧船に乗船し、立山連峰の眺望とあわせてホタルイカ定置網の見学を実施、その後ほたるいかミュージアムや県水産研究所と連携し、海の生物を学習する機会を設けることを考えている。

Q シャンバーグ市との交流事業について、実施時期について現在の考えを伺う。

A 妻木生涯学習課長

夏休み期間中を候補として考えている。学校やシャンバーグ姉妹都市委員会と協議し検討したい。

Q シャンバーグ市の子ど

も私たちの希望や意見、要望等を聞いて、魅力ある姉妹都市交流事業にしてほしい。

A 妻木生涯学習課長

子どもたちの希望や意見、要望等を聞いて、魅力ある姉妹都市交流事業にしてほしい。

もたちとの交流について、異文化を体験できるのはホームステイだと考えているが、どのように検討しているか。

A 妻木生涯学習課長

ホームステイも姉妹都市交流事業の中でも貴重な体験と考えており、シャンバーグ姉妹都市委員会と協議していく。

Q 子どもの希望や意見、要望等を聞いて、魅力ある姉妹都市交流事業にしてほしい。

A 妻木生涯学習課長

子どもたちの希望や要望を聞く機会があり、その際に聞いた意見を事業に反映していく。

その他の質問事項

Q 新幹線を利用した姉妹都市小諸市との交流事業について
Q 滑川市出身の谷井孝行選手の偉業をたたえて

一般質問



4 3 2 1

安全・安心について
下水道事業について
マイナンバー制度について
小学校教育について

尾崎 照雄 議員

Qドクターヘリの降雪時のランデブーポイントの確保について、どのような対応を考えているのか。

A濱谷消防署長

市内のランデブーポイント20カ所のうち、日常的に除雪作業に入る施設もあるかと思う。それらを十分チェックしておき、本部、県のほうとも密接に連絡をとり合いながら冬期間の運用に努めたい。

Q下水道事業について上

市川左岸の魚躬地区、山加積地区等を含めた今後の工事の計画を問う。

A澤口上下水道課長

上市

川左岸の魚躬地区については、現在、現地測量や管渠の埋設場所などの詳細設計を行っており、平成28年度以降、他の地区の整備状況等も踏まえながら整備を図っていく予定である。山加積地区及び大日、室山、葦輪については、合併処理浄化槽による整備区域にした。

Qマイナンバー制度について、周知対策は万全か。

A藤名企画政策課長

9月

号広報にも紙面を取って周知をした。ホームページにおいても継続的に制度の周知を行うほか、ケーブルテレビでの広報も予定している。施設入所者などに対しては、入所施設に対し居所情報の登録申請の案内に何うなど、制度の開始に向けて周知を徹底している。

Qマイナンバー制度のセキュリティ対策は万全か。

A藤名企画政策課長

緊急

的な対策として、ネットワークの再構築に向けて準備作業を急ピッチで進

めている。ハード面での対策のほか、セキュリティポリシーの見直しや個人番号の取り扱いに係る安全管理規定の整備などソフト面での強化もしている。

Q小学校6年生を対象に市議会見学会を行ってはどうか。

A上島学務課長

小学校6

年の社会科で「市議会の働き」という学習をしており、児童が市議会の議場を見学し、政治の仕組みを学ぶことは意義があると認識している。小学校でも、児童会、学級活動、授業の中で意見を出し合いながら話し合いの場を持ち、民主主義を学ぶ機会としている。議会を学ぶ機会については、学校の意見も聞き検討する。

一般質問



3 2 1

平和学習について
空き家問題への対策について
介護保険について

角川 真人 議員

Q市民一人ひとりが平和を考えるきっかけにと、原爆ポスター展を滑川市が図書館にて実施したが、継続して来年以降も続け行っているか。

A藤名企画政策課長

今後

については戦後何十年と続いた節目での開催を考えている。

Q身近な人からの生の声で、戦地での体験や空襲のことなど当時のことを子どもたちに伝える「語る会」を行ってはどうか。

A藤名企画政策課長

語り

部のような方に話を直接聞くといったことに関して、教育委員会と連携し、子どもたちが戦争や平和について認識を深めるためにどう取り組んでいくかを考えていきたい。

Q空き家対策に関する検討委員会の設置等の動き

はどうなっているか。

A長瀬特命担当課長

空き

家に関する各課で組織する空き家対策検討委員会を設置し、2回委員会を開催した。空き家等の対策条例、空き家対策計画、空家等対策協議会の設置など協議を行っており、空き家等の対策条例については12月議会提出に向けて作業を進めている。

Q市街地空き地空き家活用支援事業は実際にどのくらい活用されているか。

A長瀬特命担当課長

平成

23年度に1件、24年度に1件、25年度に2件の計4件で354万円の補助を行っている。

Q空き家が増える背景には、空き家でも住居があれば土地の固定資産税が安くなる、壊すと税金が高くなるといった仕組み

A藤田福祉介護課長

6月

に市内通所介護事業者を対象に説明、意見交換を行った。実施可能な組織報酬単価の決定など準備を進めていく。

にあるといわれる。立山町では人が住むことができない老朽家を撤去した場合に、土地の固定資産税を一定期間減免するという制度を導入しているが。

A長瀬特命担当課長

立山

町では老朽家屋と認定されて1年以内に取り壊しまたは改善した場合、2年間の減免措置をする制度を持っている。滑川市についても、居住用の住宅用地の特例等についても協議を進め考えていきたい。

Q地域支援事業への移行の準備はどうか。

A藤田福祉介護課長

6月

に市内通所介護事業者を対象に説明、意見交換を行った。実施可能な組織報酬単価の決定など準備を進めていく。

にあるといわれる。立山町では人が住むことができない老朽家を撤去した場合に、土地の固定資産税を一定期間減免するという制度を導入しているが。

一般質問



4 3 2 1

砂利採取業の規制に関する条例について
タラソピアの今後の方向性について
海岸部での新たな地域資源の掘り起こしについて
小規模多機能自治体について

水野 達 夫 議員

Q 法律上、市町村長は災害の発生の恐れがあると認められる時以外は、都道府県知事等に要請できないと理解するがどうか。

A 岩城建設課長 市は災害防止に関する必要な措置を講ずべきことを要請することができるとされている。申請内容について、その確認は行っているが、それ以外の規制等に関する要請はできないものとして理解している。

Q 今後の工場誘致に関して制限されると思うが見解はどうか。

A 総合企業立地推進室長代理 広い用地が必要となる工業団地の造成計画や既存地を拡張する場合において、陸砂利採取した土地を除いて考えられることになり、市の工業の発展に対して

大きな支障になると考えている。

Q タラソピアの今後について、3月定例会での発言から今日まで市長はどのように考えられたのか。

A 上田市長 今年のウェーブ滑川の取締役会で、本日は今日やめると言いかけたけど、もう1年検討させてほしいということ、今、検討させてもらっている。

Q 滑川漁港付近には全国のダイバーが集まってくる多種多様な魚を鑑賞できるスポットがある。パネル等でほたるいかミュージアムに展示し、集客効果を上げればどうか。

A 総合商工水産課長 今後ほたるいかミュージアムにおいて滑川沖の多種多様な生物を紹介するとともに、子どもたちに地元

の海に親しんでもらうためにも、海中の映像やパネルの展示等も含め、オフシーズン等における集客につながるような施設整備に努めてまいりたい。

Q ダイバーの要望であるであるシャワーやトイレ設備等を検討できないか。

A 総合商工水産課長 民間事業者の活用も含めて、今後どのような手法があるか検討してまいりたい。

Q 島根県雲南市の取組みを参考に小規模多機能自治を推進させる取組みが滑川市においても求められていると思うがどうか。

A 藤名企画政策課長 雲南市をはじめとする先進自治体等の取組みを参考とし、地域と行政との協働や自立する地域自治の推進を進めてまいりたい。

市を始めること、先導自治体等の取組みを参考とし、地域と行政との協働や自立する地域自治の推進を進めてまいりたい。

一般質問



2 1

子どもたちの学習・運動環境の向上について
体育行政について

竹原 正 人 議員

Q 平成27年度の全国学力・学習状況調査の結果について評価と対策は。

A 上島学務課長 本年度の全国学力・学習状況調査は4月21日に小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語、算数・数学、理科の3教科と児童・生徒への質問紙で実施された。教科に関する調査結果としては、小学校・中学校とも全ての教科区分において全国の平均正答率を上回っていた。児童・生徒質問紙の「テレビ・ビデオ・DVDを平日にどれくらい見るか」という質問では「4時間以上」という小学生児童の割合が高いことから、学校と家庭が連携協力し、生活習慣の見直し、家庭学習の充実に関わり強く改善を図りたい。

Q ICT教育について導入の有無を含め見解は。

A 上島学務課長 実物投影機・プロジェクター及びマグネットスクリーンの3点が整備されれば授業の幅も広がり、わかる楽しい授業を目指し整備を進めていく。

Q 小中学校における夏休みの宿題について量や質について適当であるのか。

A 上島学務課長 自由研究により科学的な視点を持つことや作品応募による地域事業への参加は有意義なことであり質・量とも適切であると考えている。

Q 中学校の部活動についてニーズを調査し再編等考えていないのか。

A 上島学務課長 生徒の希望や活動状況等も考慮し各学校で検討していく。

対応は。

A 上島学務課長 小中学校において平成27年度の1学期欠席日数30日以上不登校の発生について小中学校で7件、中学校で14件となっている。今学期は指導員が各学校を訪問し児童・生徒の状況を把握し適応指導教室の利用促進に努める。

Q 総合体育センターアリーナの空調設備の稼働状況と利用者からの声をどう捉えているのか。

A 上田スポーツ課長 8月末までに計16日間で72時間の利用があり、大会や合宿等で有効に活用いただいている。発汗が少なく動きやすい、涼しく快適に観戦・応援できるなど大変好評であり、今後大会や合宿の誘致につながることを期待する。

市を始めること、先導自治体等の取組みを参考とし、地域と行政との協働や自立する地域自治の推進を進めてまいりたい。

一般質問



3 2 1

家庭での防災のレベルアップを図れ
交流プラザ職員解雇に係る裁判について
自分に甘く民間に厳しくないか

高木悦子議員

Q耐震費用補助対象の建物は何戸で、耐震改修が済んだものは何戸あるか。

A膳鬼総務課長 昭和56年以前の木造建築は7千218棟、補助を受け耐震改修済みは3棟である。

Q自主防災組織に対する補助制度を利用している組織の数はどうか。

A膳鬼総務課長 8月末現在11組あり、制度利用は25年度12組織、26年度15組織となっている。

Q市民交流プラザや市役所入り口など、常設で防災グッズの展示をして触れる場所は作れないか。

A膳鬼総務課長 現在、滑川消防署に展示中だが、展示品の充実、場所について検討したい。

Q交流プラザ職員解雇に係る裁判について補正予算案に和解金910万円の計

上がある。訴訟費用、弁護士費用も全額滑川市民の税金で賄われる。裁判に入っても行けると強気の判断をした見通しが甘かったのではないか。

A石川副市長 判断の見通しは、その時点で色々考えた結果できている。過去に別の判断をしていれば訴訟に至らなかったのではないか。責任の所在は誰にあるか。

A石川副市長 第三セクターの指導監督責任は市役所が有すると考える。

Q責任者に損害賠償を求めるといふ考えはあるか。

A石川副市長 具体的に誰かに損害賠償を求めるとか現在では考えていない。

Q滑川市開発指導要綱で民間事業者には景観を守るよう求めているながら、児童館は原色で行田公園

との調和に配慮をしていない。市民には規制し、市当局は規律を守らなくとも構わないのか。

A嶋川教育次長 市が規律を守らないということには当たらないと考える。

群馬県では47年前のカーバイトかす等化学物質による発がん物質が地下水で検出された。スポーツ・健康の森公園の地中にあるカーバイトかすの地下水への影響は。

A長井建設部長 調査はせずカーバイトかすを見て、中の成分までは分からないが問題は無い。

Q埋め立て量の確認もしていない。見ただけで分折もしないで影響が無いと断言する根拠は。

A長井建設部長 全体的に掘れないが、費用の面から見て判断した。

タラソピアの閉館との報道に利用者の皆さんが不安を抱いておられる。何のためにタラソピアがあるか、どのように使うか考える時期では。

A網谷商工水産課長 今年度中は現体制で運営し、従来の観光施設から市民の健康寿命の延伸につながる健康福祉施設、また介護予防に重点を置いた施設として検討していく。

Q2018年から厚生労働省はさまざまな医療保険者に対し、健康づくりを競わせる制度を導入するとの報道があった。今がチャンスでは。

A藤田福祉介護課長 現在、タラソピアの事業内容の見直しを検討しており、健康づくりに対する支援制度の内容がはっきりすれば、内容によっては追

一般質問



3 2 1

タラソピアの今後について
東福寺野自然公園研修センター
青雲閣の今後について
安心・安全なまちづくりの中で

開田晃江議員

い風になると考えている。

Q市民健康センターと介護予防の両面でタラソピアに職員の派遣を。

A藤田福祉介護課長 タラソピアでは、市民健康センターと地域包括支援センターが協力し、「還暦からの健康づくり教室」を実施している。今後の方向性が決まれば、職員の派遣を含め、さまざまな角度から検討していく。

Q東福寺野自然公園研修センター青雲閣の耐震工事、今後の予定はどのようになっているか。

A妻木生涯学習課長 昨年度から庁内関係各課による青雲閣整備計画作成庁内検討委員会において、施設整備について協議を続けている。青雲閣は自然公園を一体化して研修や合宿に利用できる貴重

な施設であり、利用者も増えている。できるだけ早期に整備を進めたい。

Q建てかえなどはないか。例えば辺地債を利用すればどうか。

A石坂財政課長 辺地債には幾つかの事業メニューがあり、現時点において、全部もしくは一部が該当になると考えている。

Q防犯カメラ設置に対して補助金制度はあるか。市内の至るところに防犯カメラを設置し、犯罪の抑止力強化を図ってもらいたい。

A上田市長 現在、防犯カメラ設置の補助金制度は設けていない。補助金制度を設けている先進的自治体もあり、参考にしながら今後研究していきたい。

委員会

9月定例会の委員会の

審査から

9月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教委員会

審査議案は3議案であり、議案第59号については本会議において修正案を提出することを前提として採決を行い、賛成少数で否決すべきものと決定いたしました。その他の2議案につきましては、賛成全員で原案のとおり可決しました。

▼議案第59号 平成27年度滑川市一般会計補正予算(第3号)

◆議案第62号 滑川市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第63号 滑川市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

■民生環境委員会

審査議案は4議案であり、議案第59号については本会議において修正案を

提出することを前提として採決を行い、賛成少数で否決すべきものと決定いたしました。議案第61号については今後さらに調査・検討をする必要があることから賛成多数で継続審査とし、12月定例会でその結果を報告することに決定しました。その他の2議案につきましては、賛成全員で原案のとおり可決しました。

また、2件の請願書及び1件の陳情書については、賛成多数で12月定例会までの継続審査とすることに決定しました。

▼議案第59号 平成27年度滑川市一般会計補正予算(第3号)

▼議案第60号 平成27年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

◆議案第61号 滑川市砂利採取業の規制等に関する条例の制定について

◆議案第64号 滑川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

●請願第1号(請願書)

●請願第2号(請願書)

●陳情第1号 陸砂利採取の規制を求める陳情書

■産業建設委員会

審査議案は1議案であり、本会議において修正案を提出することを前提と

して採決を行い、賛成ゼロで否決すべきものと決定いたしました。

▼議案第59号 平成27年度滑川市一般会計補正予算(第3号)

第2回臨時会の委員会の

審査から

第2回臨時会の常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■産業建設委員会

審査議案は2議案であり、産業建設委員会として、次のとおり付帯決議をつけることとし、賛成全員で可決しました。

◎付帯決議

『運航委託先との契約内容、観光船の今後の利活用計画、従来の観光船との関係などについて、議会に対し早急に当局の考え方を明示されたい。』

▼議案第57号 平成27年度滑川市一般会計補正予算(第2号)

(3千5百万円)

◆議案第58号 動産の取得について(観光遊覧船の取得)

民生環境委員会行政視察

(7月7～9日)

◆(株)夢のみずうみ村

浦安デイサービスセンター

(施設環境・介護予防)

◎「人生の現役養成道場」を施設運営の基本とし、無理なく楽しく通所できる環境を提供することで、生活を楽しむためのリハビリを実践する。

【特色ある施策内容】

- 1 活動メニューを自分で決定。
- 2 意図的に段差や坂などを設け、自ら克服する努力を促す。

◆埼玉県和光市

(地域包括ケアシステム・

コミュニティケア会議)

◎和光市では様々な先進的取組により、要介護認定率や保険料を低く抑えている。自立支援の理念が機能するように介護保険制度を作っているのが特徴であると思われる。

【先進的な取組み】

- 1 介護予防の重視
- 2 居宅を中心としたサービスの充実

◆長野県茅野市

(地域福祉計画・

保健福祉サービスセンター等)

◎市民の生活圏を5つの階層に分け、身近な所での支え合い活動を支援している。また、4カ所の地域に設置

されている保健福祉サービスセンターには、社会福祉協議会の職員と行政側の職員が配置されており、情報を共有することで運営の一体化が図られ、成果が発揮されている。



産業建設委員会行政視察 (7月28～30日)

◆神奈川県藤沢市

(地産地消事業・フィルム・コミッション事業)

◎平成21年に議員提案により「藤沢市地産地消の推進に関する条例」を制定。「湘南ふじさわ産利用推進店制度」などの事業を展開している。

庁内に湘南藤沢フィルム・コミッションを設置。総合窓口を設け、周知並びに機能の充実を図り、観光振興及び地域経済の活性化に寄与している。

◆神奈川県小田原市

(木育推進事業)

◎子どもたちに、木製おもちゃや森林教室などを通じて身近に木に親しんでもらう「木育」を実施。地域の間伐材を活用し、地域の製材所で製材し、地域の職人が製作した木製おもちゃなどを教材とし、市内各小学校・保育園、また妊婦を対象とした木育授業も開催している。

◆神奈川県茅ヶ崎市

(ちがさき都市マスタープラン 確認委員会)

◎確認委員会は都市マスタープランに定めた「計画の実現状況の確認」のため、進捗状況を適切に管理する仕組みとして平成21年に発足。市民目線から「効果的に協働が行われているか」、「将来都市像の実現にどのくらいまで近づいたのか」を確認したり、市民・事業者・行政の責任が果たされているか意識しながら、施策の進捗状況や協働の取組み状況を管理している。

議会改革検討

特別委員会行政視察 (8月17～18日)

現在議論している議会基本条例の中で、主に議会報告会の実施、市長等の反問権、議決事件の拡大をどう取り扱っているか等に重点を置いて、先行実施している議会の状況を視察した。

◆岐阜県可児市

◎議会報告会 議会基本条例制定後は、毎年5月頃と11月頃に実施しており、回数を重ねるごとに毎回のように参加する方からも建設的な質問・意見が出されるようになってきている。

◎反問権 議員の質問等に対して論点を明確にするために保障している。

◎議決事件の拡大 現時点では総合計画の基本構想だけを規定している。

◆愛知県江南市

◎議会報告会 「市民と議会との意見交換会」として、条例では年2回以上としており、条例制定後5会場で3回実施。実施前には議員が駅頭で案内チラシの配布なども行った。

◎反問権 実施要綱では議員の「質問の趣旨をより明確にすること」と規定している。議長の判断が重要になる。

◎議決事件の拡大 総合計画の基本構想、各種都市宣言等大きなものだけとしている。各種の計画は対象外。

議会放送と録画放送等のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ11チャンネルで放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、12月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報(12月号)・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆様のご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。
電話 475-2111 (内線 371)

【議会報編集委員】

高橋久光委員長 谷川伸治副委員長 角川真人委員
竹原正人委員 尾崎照雄委員 中島 勲委員

9月定例会での①請願・陳情、②要望書について

件名及び提出者

処理結果

- ① 請願・陳情（3件）
- 1 請願書 本会議結果＝継続審査
滑川市民の水道・水源を守る会 代表 島川 実
 - 2 請願書 本会議結果＝継続審査
滑川土石販売協同組合 代表理事 有澤 義英
 - 3 陸砂利採取の規制を求める陳情書 本会議結果＝継続審査
滑川漁業協同組合 代表理事組合長 萩原 金吉
- ② 要望書（6件）
- 1 高齢者が地域で活躍できる場の拡充に取り組むシルバー人材センターへの支援の要望
..... 全議員へ参考配付
(公社) 全国シルバー人材センター事業協会平成二十七年度定期総会/
(公社) 滑川市シルバー人材センター 理事長 四十内 政春
 - 2 14回目の地球社会建設決議陳情書 全議員へ参考配付
荒木 實
 - 3 請願書 全議員へ参考配付
新越コンクリート工業株式会社 代表取締役 山崎 栄市 外1名
 - 4 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情 全議員へ参考配付
福岡県行橋市議会議員 小坪 慎也
 - 5 要望書 全議員へ参考配付
(一社) 富山県建築士事務所協会 会長 堂田 重明 外2名
 - 6 意見書 全議員へ参考配付
滑川工場倶楽部 理事長 高津 佳秀

9月定例会での本会議の結果について

議案内容等

採決結果

- ◎議案第59号（修正案） 修正案可決（賛成多数）
平成27年度滑川市一般会計補正予算（第3号）
賛成者＝竹原・谷川・高木・原・中島・浦田・中川・高橋
反対者＝青山・角川・尾崎・水野・古沢・開田
- ◎議案第59号（修正議決部分除く） 原案可決（賛成全員）
平成27年度滑川市一般会計補正予算（第3号）
- ◎議案第60号及び議案第62号～議案第64号 原案可決（賛成全員）
平成27年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 外3件
- ◎議案第61号、請願第1号～請願第2号、陳情第1号 継続審査（賛成多数）
滑川市砂利採取業の規制等に関する条例の制定について 外3件
賛成者＝青山・角川・尾崎・水野・原・中島・古沢・開田・中川・高橋
反対者＝竹原・谷川・高木・浦田
- ◎議案第74号 原案同意（賛成多数）
滑川市教育委員会の委員の任命について
- ◎議案第75号 原案異議なし（賛成全員）
滑川市人権擁護委員候補者の推薦について
- ◎議案第76号 原案異議なし（賛成全員）
滑川市人権擁護委員候補者の推薦について

第2回臨時会での結果について

議案内容等

採決結果

- ◎議案第57号～議案第58号 原案可決（賛成全員）
平成27年度滑川市一般会計補正予算（第2号） 外1件